

動力機械の事件簿

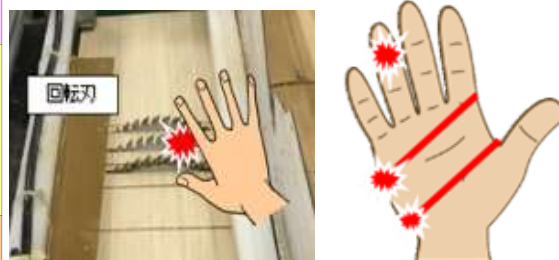
～機械内部に手を入れるな!～

動力機械の作業において、内部の異物除去や部品の取り外しなどを行う場合があります。その際に動いている機械へ手を入れると、数か月・数年単位の治療を要する程の大ケガにつながります。実際に起こったケースを元に、動力機械の危険について確認しましょう。

●動力機械の災害事例

Case1 木材加工機の回転刃へ手を近づけて・・・

発生状況 刃を調整するため、機械の停止ボタンを押した後にカバーを外し、刃の近くにあった木くずを取り除こうとしたところ、惰性で回り続けている刃へ手のひらが接触した。

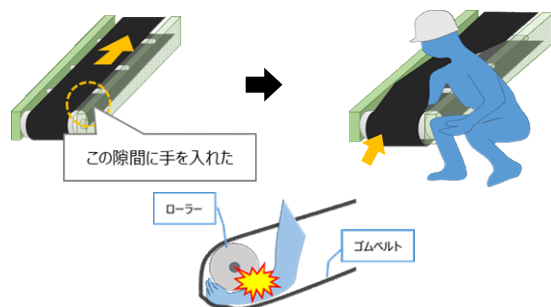


回転刃へ手を近づけた → 右手薬指指先骨折など

右手のひら神経や血管の損傷もあり約100針縫合、約3ヵ月間の休養・治療を要した事例です。停止ボタンを押してもすぐには止まらず惰性で動く機械もあるため、動作が完全に停止することを確認しましょう。

Case2 コンベアの中へ手を入れて・・・

発生状況 コンベア内部の異物が気になり、動いているコンベアのゴムベルトのすき間へ手を入れて確認しようとしたところ、ゴムベルトのローラーに右手を巻き込まれた。



コンベアを止めずに手を入れた → 右前腕開放骨折

開放骨折とは、骨折と同時に皮膚が破れて骨が外に露出する状態を表します。骨が露出すると、骨髄炎などの細菌による炎症を引き起こし、後遺症が残ることもあります。（本事例では全治1年と診断）

●機械の中は非常に危険です

各事例から『動いている機械に直接手を入れる（近づける）』行為は、大きなケガの原因であることがわかります。これらの危険を未然に防ぐ目的から、安全カバーや赤外線センサーなどの安全装置が設置された機械もあります。動力機械の中へ直接手を入れる行為は、大ケガにつながることをしっかりと認識しましょう。

《動力機械によるケガを防ぐためには》



- ・決められたルールを守る、専用の道具を正しく使う。
- ・作業前に電源をオフにする。
（オフ後も惰性で動くこともあるため、完全停止の状態を確認する）
- ・安全装置を無断で解除しない。



服や髪の毛が巻き込まれるケースもあります。服装や髪型にも要注意!



★今月の安全衛生川柳～急いでいる時でも手順を守ることは無事故へとつながります。

急いでも 守ろう手順 事故はゼロ 北大阪支店 スタッフさんの作品

※安全衛生川柳を募集しています。詳しくはトコトコランドをご覧ください。